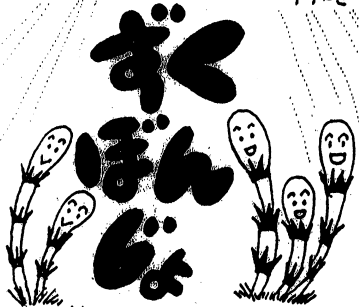
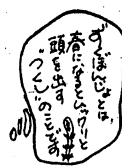


花には太陽を 子には平和を



発行第245号 R4.5.30 広報委員会
小金原保育の会 幼児教室



第48回 小金原保育の会 幼児教室 総会が令和4年3月26日に開催され

ました。
総会の詳細は4日に発行された総会報告ならびに
運営委員会だよりをご確認ください。特に今年ほど詳細
にも一読していただきたい内容となっております。
また決議の結果、根本幸子先生が保育主任を兼任され顧問となり
新しい保育主任は斎藤三恵子先生(ちゅうりょうぶくみ担任と兼任)と
なります。
今号では「お二人から在室の母連に向けてのメッセージ」をご紹介します。

バトン・タッチ

木根本幸子

この高木の記録の中、やさしい光が子どもたちの上に降りそそいで
いる5月の夜、この度保育主任の立場を斎藤三恵子さんに
バトンタッチしていただきありがとうございます。
昭和、平成、令和と長い道のりの歴史の中5人目の保育主
任になります。保育者全員の意向を心よく受け受け
下すこととしたい限りです。今後会の顧問という仕事を
も果たすことに感謝しています。設立当初の思い
である子どもたちの育ち、幼少期の育ちの場、竹
の二虎を共に考え、話し合い、深めながら小金原保育の会
幼児教室の発展と未来を築いていければいいなと思っています。
50周年に向けてもご協力をよろしくお願いたします。

とともに

斎藤三恵子

子どもをまん中に 親と保育者が協力し、よい幼児の
集団を作っていく」

この理念のもと、大勢のOBの方々や先生方が下さる
時間と労力をかけて下さり、築き上げ続けて下さりました。
主任を引き受けるにあたり、重責を感じています。言葉には
言い表せません。しかし、その時間と労力に思いを込めると、
そんなことは言えない。自主運営の原則に立ち寄り
自分のやるべきことをするのみです。私が決め進めることは
ありません。お母さんたちと保育者とともに考え、決め、進め
いく、ということなのです。

私も自分の子にふかれと 幼児教室を選びました。自分と
我が子だけの世界から、母とは通った5年間に、下さる
時間とともにした子どもたちと母たちの、それぞれの成長を喜び
、よい未来を願う母になりました。この小さなおたけい
社会が、これからは続き、広がってほしい。その気持ちを大切に
「おんこ、くろみえん」と、教室の門に立ち役目をしてい
たいと 思っています。

新しい役員の方から皆さんに向けて一言いただきました。
役員になってくれてありがとうございます!!

長谷川香澄(2人姉妹の長女) 会長

楽しく一年過ごしましょう!
よろしくお願いたします!

ひばり 日曜(第3子)



岡亜樹(2人姉妹の次女) 副会長

くるみさんのこと大好きです。
楽しく工夫しながら、みんなとともに
あたたかい流れをひらいていきたいと
思っています。どうぞよろしくお願いたします。

ひばり 遼汰郎(第3子)



新しい担任の先生からも一言いただきました。
どんな年になるでしょうか。一年向うにお願いたします!!

元気あふれるうさぎごみさん、年長2組、ふたりお
み、4人5人と集まって遊んでいます。仲間と
一緒に楽しむことも、おもしろいことも何倍にも
大きくなるようです。パワフルな子どもたちと
一年過ごしていきます。

大木



中山さとみ(2人姉妹の次女) 専任

素敵なお母さんがたくさんいる中、私が
自分の役員を引き受けるとは思いませんでした。
人生は本当に何かおこるかわかりません。
手がかかっているお母さん、長女があと1
月に5年生になり、元気な1人、笑顔を
真ん中長男は3年生になりました。(私を知っ
ているOBの皆様お元気ですか?)
長くお世話になっているくるみさんの生活も
残すところあと2年になります。どうぞ過ごしてい
たい自分なりに考えて、この時期でもできる
範囲で、みんなのお母さんたちと関わり、
お話しができて嬉しさを味わいたい
と思います。子どもにとっても親に
とって心に残る園生活を送って
ほしいとも思っています。気軽に
声をかけて下さい☆
1年間どうぞよろしくお願いたします!!
ひばり 日曜(第3子)



ひばりごみ 鈴木知加
とてもエネルギーなひばりごみの子どもたち。
一人ひとりが「のびのびと自分を表現して」
集団としても楽しく、たまにはクラスにふって
欲しいなと 思っています。



一人ひとりこだわりがあり、どの子も同じではなく
その子なりの おもしろさを発揮し、その中で「おどろ
いしげが楽しい」を体験したいと思います。
今年度から毎月お母さん 週5日保育になります。
無理のない ゆくりとした生活をしていきます。

親会レポート

親会後編ではOBのお津由さん(代表理事)や岩塚さんからくるメールに対する思いを箇条書きにしてみました。
そして、親会を振り返るにあたり、次回のOBから寄せられた書き込みには素直なメッセージやお手紙が送られていました。
一部ご紹介しつづ。*尚、親会を振り返る誤字脱字等こちらで修正しております。ご参考下さい

人との距離感ができてしましやすいくらいの現状の中、子どもたちが安心してのびのびと過ごせるくみえんは子どもたちにとっても保護者にとっても、本当に大切な場所だと改めて感じました。(麥澤 あずみさん)

子どもを真ん中に、真剣に向き合っていた環境で過ごせた日々は、かけがえのない大切な宝物だと改めて感じています。日々の生活でもふと思うことがあります。大人が手を取り合って、子どもを通して成長している素敵なくみえんの発展をお祈りします。(南橋 真理さん)

運営委員会では、すぐには言葉にしずらく私達が幼児教室で過ごしていた頃を思い出して、子供達が卒業してから年月が経ちますが、根、この部分は変化する事なく続いていて嬉しく思います。自分の意見を言う、人の話を聞く、受け入れ認め合う... かんたんなようで難しかったり、でも生きていく上で必要で大切なことで... 今は自分の意見ばかり押しつけて人の話を聞かない人受け入れてもらえない態度に出る口を開きしてしまう人 SNSなどで自分の筆名前を出さず言いたいことを書き込める人... いろいろな人が増えてきているように感じ何だかんだどうなるか... と思ったりします。それと同じく世の中に便利なものがたくさん溢れて人と言葉を交わさなくても物が何でも手に入り外に出なくても会話をしなくても生活ができてしまう... だからこそ たこさん 言葉をこぼし意見を言える、ぶつかり合って考えて悩んで... そんな時間を過ごす幼児教室は大人にも子供にも貴重で大切な場所だと感じます。私は近くにいたから政連にならなくなってしまっていますが時々思い出しては振り返り、とても良い思い出になっていきます。ずーっといつでも幼児教室(今はくみえんですね)がありますように... (佐藤由美さん)

幼児教室懇談会、に行きました

事務局専従 武中悦子

コロナ感染症がまん延する前は、

「全国(とはいえ、関東4都県)幼児教室交流集会」を行っていました。(第1回集会は1979年、37園参加、1991年には81園参加)

「幼児教室」の親と保育者が一緒に学習したり、交流したり、情報交換したり、代々木のオリンピック青年センターで楽しい1日を過ごして、学んだことを持ち帰り、各園で報告会をしていました。しかし、このコロナ! 2年間何もできないうちに「幼児教室」を閉室するところも!!

「今年は大きな集会は難しくても、なんとか交流したいね。保護者への保育料補助金など、他の幼児教室と力を合わせて訴えてきた経緯もある中で、情報交換も大事だね」と、5月7日、新宿区にある「保育プラザ」で3年ぶりの「幼児教室懇談会」が開かれました。

集まったのは、くみえんを含む5園でした。それぞれの園で、募集活動や講演会の企画、実行や、各自治体の働きかけをして、大変参考になりました。

また、東京から参加していた2人の保護者(母)から、全員が何らかの活動に携わっていることや、保育の良さをどう伝えか?

などの意見が聞けて、やはり、交流と情報交換は大切だと改めて思いました。

今までのような大きな交流集会はできなくても、なんとかつながりあって、考えあいでいけるような場を持ちたいのもので、どんなことができるか、といったか、各園で考えあいで6/4(土)に、また意見を待ち寄ることになりました。他の園のみなさんに知ってほしい、みんながこんなと学習したい、意見があったらぜひお寄せください。また、この会に参加してみたい方は、武中までお知らせください。

ずいばんじよ 第24号 発行に寄せて

新年度初のずいばんじよのポリシーにおどろかれた方もいらっしゃるでしょう。そうなんです。今年は17人数ながら、自由に楽しく紙面作りをして、熱を感じ取りたい、感じたことを...
つい先日、古いOBさんにお目にかかりました。お子さんは40代、知的障害があり支援施設で日中お仕事をし、朝御社と密着グループホームで生活されています。彼女Hさんは、自分のやりたいこと、意見をはっきりと伝えられる方です。お母様は「今のHがあるのは幼児教室のおかげ」と感謝の言葉を発していました。そして、教室創設時、たいへんお世話になった吉本先生のお墓にはヒヒと涙がみまわりました」と... 吉本先生が亡くなって2年、たこさんのOBのおかげで、今だに幼児教室への愛着を感じ、当時のお母さん同士のつながり、つながり、つながり、かいま見られました。(広報員 山岡代子)

おさらいくろみえん①



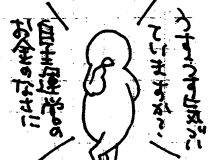
保育料とか
お母さんから
支障とか
どう考えるの？

長い歴史の中で、この部分はある程度システム化された。
自主運営をしていく上で欠かせない①、②、③、を考える矢頭に
立つのが役員会です。そしてその補佐的役割を担う委員会と
係があります。

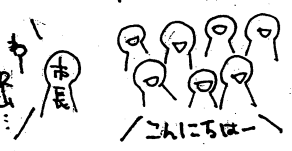
くろみえんOB

① 財政管理 会計山岡, 干エウク係 副会長 (2ヶ月に一回)

●バザー委員会
バザーは大規模な
イベントです!!
バザーは大規模な
イベントです!!
バザーは大規模な
イベントです!!



② 外部とのやりとり 事務局専従武中 with 会長, 副会長, クラス委員長

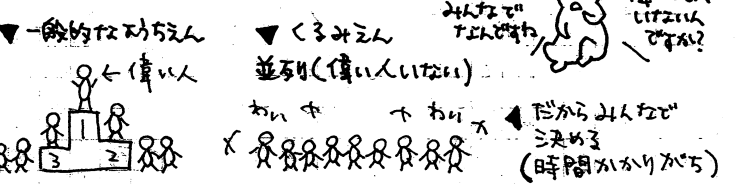


市長懇談会に至っては希望する
母全員で行っていたそうです。
(コロナ禍前)

③ 園児募集 ● PR委員会 ● インスタ係 with 清水先生

①, ②, ③が機能してはじめて④が考えられるんです。

だから、この保育がいいと思っ
て入ってきたお母さん達には
この自主運営という形を理解し、
協力してほしいと思います。
できる人が、できる範囲で、
できる時に。みんなの力を少し
ずつ借りて、このくろみえんは
やってきました。これから
も、今いる子ども一人ひとりが
よりよい未来を過ごすため、
保育者と保護者が一緒に考
えて保育をしていくように、
手分けしてこのくろみえんを
支え合ってほしいのです。



活動時間の目安

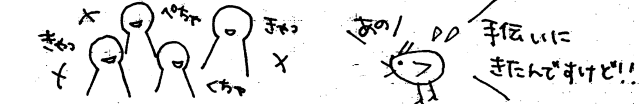
	バザ	PR*	学習*	広報
頻度	1ヶ月 1回	1~2	1~2	1
時間	活動 時間	(不定) 1-3 時間	(不定) 2-3 時間	(月) 9:30 11:30
委員	X	小森田 (代表)	森 (代表)	X
担当	清水先生	役員会	斎藤先生	山岡氏

水曜日は
バザ係に
関係ない
活動時間
は、平日
の活動時間
と同じです。
Xは、都合
が合わない
ためです。

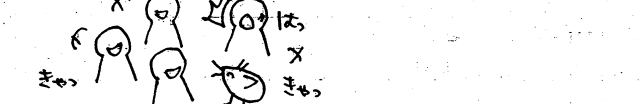
委員会に入ると各委員長からあなたに連絡があります。
そこで次の活動の日等気になることを聞いてみて下さい。
バザーと広報は今年人が集まらず委員長不在のため
各委員が連絡します。



各委員は活動日を掲示板に貼り出すルールになっています。
今年は単発のお手伝い募集も貼り出される予定です。
「委員に名を連ねるほどでは無いけれど...」気になる方は同じ
クラスの母と話し合った上で「お手伝い」に参加してみてください。

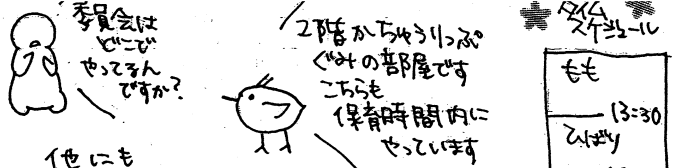


水くろみえんの母はおしゃべりになりがちなので脱線したら
気づいた人が話を元に戻します。



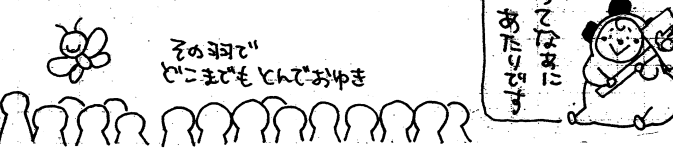
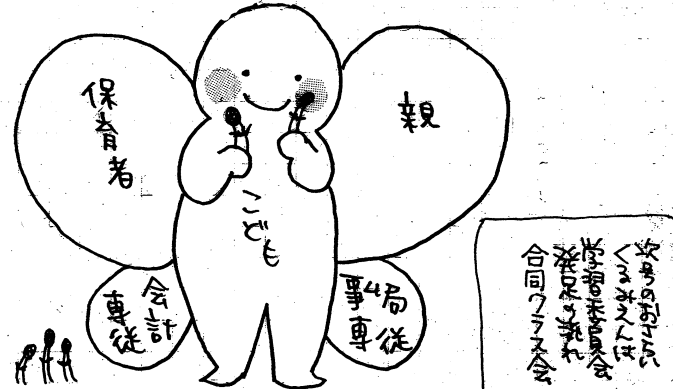
うっかりおしゃべりに夢中になってしまうときがあります。
でもそんな中からアイデアが生まれることもあります。
楽しくおしゃべりすることはとても大切なことなんです。

また、やっていく中で「これはおかしいんじゃないか？」と疑問が
浮かぶこともあるかと思いますが、四月に出た総会報告にあったように、
委員会に入り辛い思いをしてお母さん達がいきました。このように
ことを二度と起こさないために今年新たに運営に関する相談窓口が
できました。担当は根本先生です。
何かあったら先生と話してみてください。



委員会はいかに
やるべきか？
2階からうりふ
くみの部屋です
こちらを
保育時間内に
やっていきます

いかがでしたか？くろみえんがどんな仕組みで、自分は
ここにどう参加していくか考える手助けになりましたか？くろみえん
くろみえんのスタイル(一緒に考える)に慣れていて下さいね。



そして...この紙面を作成しているのが
広報委員会です。
「おくろみえん」は、会員向けの広報紙です。
在室会員の「わからない...」「知りたい...」を、よりわかりやすく
楽しく読んでいただけるように...と心がけて作成しています。
おだまは電車もたのしい
山岡を、広報では
人格を変えて参加したい
と言った
今号は、ほぼ
野本が
作成した